

平成28年度

第12回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成28年度第12回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成29年3月23日(木)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時35分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

委 員 長	重 清 由 充
委員長職務代理者	大戸井 美 生
委 員	森 勝 正
委 員	庄 野 憲 二
委 員	西 淵 利 江
委員(教育長)	坂 東 英 司

4 会議出席者

教 育 次 長	後 藤 啓
教 育 次 長	高 田 稔
教育総務課長	猪 尾 正
学校教育課長	成 谷 史 代
社会教育課長	松 原 美 子
学校給食センター所長	野 崎 順 子
(書記)教育総務課係長	原 井 亜 紀

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 準要保護の認定について
- (4) 阿波市教育委員会ストレスチェック実施規程について
- (5) 平成29年度幼稚園保育料改正について
- (6) その他

会議の大要は、次のとおり。

【重清委員長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【重清委員長】送付いただいております会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【重清委員長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【重清委員長】教育長に報告を求める。

【坂東教育長】2月21日から3月23日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

【森委員】24日に不登校問題に関する対策協議会があったということですが、私が現職でこういう会に参加した時には、共通理解を図るために、またサポート体制を整えるために、市関係、学校関係いろいろな方と協議をして、すごく子どものためになったという記憶があるのですが、先日マスコミに取り上げられていたことには、個人情報が入った書類を持ち帰った人がいたと。ただし、それは取扱注意ということで外へは漏らさないというようなことだったらしいのですが、残念ながら流出してしまったということでした。阿波市につきましても、個人情報の流出には十分気をつけていかなければならないと思いますので、よろしく願いいたします。

【坂東教育長】おっしゃるとおりで、いろんな方が集まってお話をさせていただくというのはいいのですが、該当者をAさん、Bさんとしているところもあります。しかし、この会についてはこの場だけであって、また地域の子どもたちのことをよく知っている方の集まりであります。この場限りの実名ということで、話をするにもわかりやすいし、共通理解もしやすいということから実名で対応しています。もちろん、会が終われば資料等は回収いたします。

【重清委員長】17日の臨時職員採用面接では、幼稚園助教諭の必要人員は満たされたのですか。

【坂東教育長】残念ながら、1名足りません。

【重清委員長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 準要保護の認定について

【重清委員長】事務局に説明を求める。

【成谷学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

なし

【重清委員長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(4) 阿波市教育委員会ストレスチェック実施規程について

【重清委員長】事務局に説明を求める。

【成谷学校教育課長】阿波市教育委員会ストレスチェック実施規程について説明。

〈質 疑〉

【重清委員長】これは希望者のみですか。

【成谷学校教育課長】全員です。

【森委員】努力義務だからということで拒否されたらどうなんですか。

【成谷学校教育課長】拒否されたら仕方ないのですが、簡単なチェックですので、是非受けていただきたいと思います。

【森委員】回答データが学校共済へ送られて、そこで総合的に判断した結果を本人にお返しするということですね。この規程を見ていると、組織として職員のメンタルヘルスをチェックしなければならない。また、管理職としては配慮していかなければならないのに、勤務場の上司への報告を本人が断ればその結果がわからないし非常に難しいものがあるのかなと思います。これに関して教育長には情報が入ってくるのですか。たぶん入らないでしょうね。

【成谷学校教育課長】それはないです。

【猪尾教育総務課長】所属単位では出ます。例えば、所属で高ストレスの方が何%いるとかいった情報は出るのですが、個人名では出ません。

【成谷学校教育課長】自分が高ストレスと判断されたら、あくまでも本人の希望によってですが、産業医の面接が受けられます。

【庄野委員】先ほどおっしゃっていたように、職場ごとの分析をして、職場自体に何か原因があつてという場合には非常に有効であるように思います。職場の改善という部分にしっかり活用していただきたいです。

【成谷学校教育課長】個人が不利益を被らないよう配慮いたします。

【庄野委員】先生方は、コンプライアンスの検査等いろいろな検査がありますし、それが逆にストレスになりかねないので、ストレスにならないような

やり方ならいいのかなと思います。

**【重清委員長】**職場上でのストレスというのであれば、上の方が把握する必要があるのではなかろうかと思いますがし、本人がストレスに対して対策を講じてなかった場合や産業医との面接を拒否した場合、どのように対応するのですか。

**【成谷学校教育課長】**本人が承諾さえしてくれれば、共済組合のほうで個々の結果がわからないように全体で評価してくれます。例えば、上司からの支援があるかとか職場でのコミュニケーションが図られているかといった項目ごとでの結果がわかります。10人以上の規模で評価されます。

**【重清委員長】**今までなかったもので、してくださったらありがたいですね。

**【坂東教育長】**先生方の表面上の態度と、内面の思いが違う場合がありますよね。例えば、先生方は勤務時間が長いと言われますよね。管理職から見ていて、同僚と仲良く声掛けあっているように見えても、個々にとっては長い時間付き合わないといけないからストレスであるというような結果も出ます。そういったところで、職場や本人のストレスに改めて気づくというような場合もあります。ただ、これは本人が事業者に情報提供することに同意していることが前提ですが、職場や本人のストレスが管理職にもわかるので、相談に乗ってあげられると思います。

**【成谷学校教育課長】**今年度の県内取組状況としては、阿波市含め7市が実施されるように聞いています。

**【坂東教育長】**事業者に提供することに同意するしないはその人の自由ですので、そこまでは介入できませんが、まずはそういうチェックをしていかないとね。

**【重清委員長】**自分がストレスを抱えていることを上司に伝えたら、評価が下がるのではないかという恐れがあって、逆に言いづらいというようなことではいけませんしね。職場環境を改善するためのストレスチェックですので、是非とも良くなるように努めていただきますようお願いいたします。

**【森委員】**教頭や校長には知られたくないけれども、校内の様子是这样であるというようなことを教育長には知っておいてほしいというところはあると思います。職場で起こっている問題に気づき、指導し、改善していかなければ良くなる気がしません。痒い所に手が届かないような気がしています。

**【重清委員長】**自分の中でおさめて終わりというようなケースになってしまいうそうですね。

【森委員】経費は。

【坂東教育長】市が負担します。

【成谷学校教育課長】1件につき97円の人数分となります。また、産業医の面接については、1件2,820円です。これも市費です。

【森委員】阿波市としては、個人が精神的に追い詰められたり、不健康な状態でいろいろなトラブルや事故が発生しないようにという思いや願いはありますので、運用上、もっと深い部分を知って関わられたらという気はするのですが、やはり、それをしてしまうと個人が相談しにくい、受けにくいというところがあるのでしょうか。

【後藤教育次長】ストレスチェックについては、かなりシビアな問題がいろいろなところに見えてきます。強制的にしなければならぬ場合は、いろいろ違った部分で制約があるのですが、こういう努力義務というのが一番扱いが難しいです。

【重清委員長】「阿波市教育委員会ストレスチェック実施規程について」を承認する旨を告げる。

#### (5) 平成29年度幼稚園保育料改正について

【重清委員長】事務局に説明を求める。

【成谷学校教育課長】平成29年度幼稚園保育料改正について説明。

〈質 疑〉

【森委員】子どものため、保護者のためになるのであれば、積極的に取り入れて改めていけばいいと思うのですが、財源はどうなんでしょうか。

【成谷学校教育課長】阿波市の財源を使うこととなります。

【森委員】では、市の方で財源確保の目途は立っているということですか。

【成谷学校教育課長】今申し上げましたとおり、幼稚園に関しては約40万円の減となります。保育所、認定こども園の保育料も合わせると、約159万円の減となります。

【後藤教育次長】現在、子育てをメインに地方創生に取り組んでおります。財源は、市単となります。階層がいろいろあり正確にはわかりませんが、これまでも国の56%ということまでしてきております。いろいろ議論するところはありませんでしたが、国の半額でいこうという方針で協議をしまして、この料金で設定させていただきました。議員のなかには、「板野町が保育料を無料にして人口が増えた。」とおっしゃる方もいたのですが、なかなか

保育料を無料にというわけにはいきませんので、なんとか国を基準に 50% としております。待機児童等いろいろな問題があり、国は手厚い子育て支援を打ち出してきており、今後は段階的に保育料を無償化していく方針を出してくるのではないかと考えております。

【重清委員長】他市に比べてはどうですか。

【後藤教育次長】安いです。

【重清委員長】子育てしやすい環境づくりに阿波市も協力的ですので、これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

【後藤教育次長】昨日も子ども子育て会議がありました。阿波市では、妊娠から出産、教育までの一連の助成事業を 1 冊にまとめた冊子を作っております。子ども子育て会議の各委員さんからも「阿波市については、ある程度充実していただいている。」というご意見がありました。今後、この会議の中でも「子育てしやすいまち」ということでいろいろ意見を出し合いながら、良い方向に進めていこうと話合ったところです。

【重清委員長】「平成 29 年度幼稚園保育料改正について」を承認する旨を告げる。

#### (6) その他

【重清委員長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【高田教育次長】阿波市転入教職員辞令交付式について説明。

【後藤教育次長】平成 29 年第 1 回市議会定例会について説明。

〈質 疑〉

【重清委員長】この 5 年間で全部認定こども園になった場合、今までの幼稚園でしたら小学校の運動会に参加されていましたがね。それもなくなるということになるのでしょうか。

【後藤教育次長】おそらく認定こども園として、全ての園児が参加するようになると考えております。小学校との交流を続けるため、できるだけ小学校に近いところで用地選定を行い建設する方針です。

【重清委員長】認定こども園は子育て支援課の管轄になるのですが、教育委員会とも連携を取りながらというかたちになりますよね。

【後藤教育次長】組織の見直しが必要になるのではないかと考えております。今は子育て支援課で何もかもしておりますので、今後は組織体制をかなり充実さ

せると思います。そうすると、教育委員会部局の幼稚園担当がどうなるのかという部分もあるのですが、どっちになっても教育委員会との連携は必要ですので、なんとかいけるのかなとは考えております。

【重清委員長】子どもたちを育てていくには、保育所、幼稚園、小学校、中学校としっかり繋がっていくような連携の仕方で行き詰らないといけませんので、よろしくお願いいたします。

【森委員】先ほど連携とおっしゃっていましたが、民営化された時の連携の仕方はどうなるのでしょうか。どういう団体がどんなかたちでかかわってくれるかその方針にもよるとは思いますが、積極的に縦の繋がりを大事にもらえる団体が受けてくれるとありがたいなと思います。選ぶ時点でも、そういうことを配慮していただけるのかなとは思いますが。これから認定こども園にしていくところは、すべて民間でもなくて公営も残すのですよね。そのことによるメリットはあるのですか。

【後藤教育次長】民間はあくまで営利目的という部分がありますので、民間に受け入れてもらえない子どもが出てきた場合に、必ず市で受け入れなければなりません。そのようなことから、すべて民間でというわけにはいきません。運営についても、民間であれば早めの保育をしていただけたら、保育の内容も民間のノウハウを生かしていただけたらと思います。また、公は公でベテランの保育士がおりますので、そういったところのメリットデメリットがそれぞれあると思いますので、あとは保護者の選択になります。

【森委員】現時点では、これがベストなんだろうとは思いますが、将来的に子どもの数がどんどん減ってどうなっていくのでしょうかね。

【後藤教育次長】子どもは減っていきますが、預ける子どもの数はそんなに変わりません。やはり共働きの家庭、核家族化が進んでいっているのが要因だと思います。

【大戸井委員】ここに通えるのは阿波市に住所のある子どもですよね。

【後藤教育次長】そうです。阿波町の方が通勤途中の土成や吉野に預けることは可能です。

【西淵委員】民営だったら同じところがまとめて受けるわけではなくて、それぞれにばらばらの可能性もありますよね。阿波市内どこのこども園に通ってもいいとなると、どこかに人気偏る可能性も出てきますよね。

【後藤教育次長】おっしゃるとおりです。その可能性はあると思います。ただ、それも家庭の事情にもよりますが、当然定員もありますので。一番困るのは、民間事業者が来てくれない時ですよ。

【森委員】人気集中しすぎて、そこでなければとなって待機児童になったり

することもないでしょうか。

【後藤教育次長】そのような場合は、市で受け入れます。

【西淵委員】預ける金額は全部同じですか。

【後藤教育次長】はい、市で保育料は決めます。

【重清委員長】民間は民間のやり方で運営してもいいということですよ。

【後藤教育次長】そうです。選定する時には、どういう保育をしますかという  
ようなことが提案のなかにありますので、チェックはできると思います。

【森委員】逆に、肝心の柱は確保した上で、市からこんな工夫をしてくれとい  
うようなものは出さないのですか。もう相手側からの提案で良しとするか  
ダメとするかなのですか。

【後藤教育次長】募集要項の中である程度は謳えるとは思いますが。しかし、あ  
まり出しすぎると民間の方針が出しにくいので、主なところだけだと思います。  
あとはもうすり合わせをして、選ぶのは市ですので、そういったと  
ころは選ぶ時にいろいろお聞きすると思います。

【森委員】幼稚園だったら教育委員会ということもあり、小・中学校との連携、  
あるいは幼稚園と幼稚園との先生方の研究会をしていましたが、公と民と  
いうことになると、保育の資質を向上させるためには当然そういうことも  
考えるのですよね。

【後藤教育次長】それはもちろんするべきだと思います。

【坂東教育長】小・中学校でしたら学習指導要領という柱がありますよね。今  
も保育指針と幼稚園教育要領と認定こども園教育・保育要領の3本柱でし  
ていますので、認定こども園だけになったら認定こども園教育・保育要領  
というのが一つの柱であって、この柱にプラスして民間がこんなことをし  
たりあんなことをしたりというかたちでやっていくと思います。また、先  
生方の研修につきましても、今は幼稚園教育研究部会というのがあります  
けれども、こども園でも4歳5歳の1号認定の幼稚園教育をされている方  
は幼稚園教育研究部会に入っただいております。そのようなことから、  
公営の場合の4歳5歳の1号あたりは、先々名称は変わるかもしれませんが、  
幼稚園教育研究部会として大きな組織としてやっていくのではないかと  
思います。

【重清委員長】今でも11月にある人権教育研究大会でしたら、かもめからも  
先生方が来てくださっていますね。そういうふうなかたちで、これからは  
先生方には研修会等に参加していただくということですよ。

【後藤教育次長】市内の子どもたちの教育に携わりますし、そういうことにな  
るかだと思います。今回の問題もあり、おそらく市の監査やチェックは強化

されるだろうと思います。

【大戸井委員】活性化してくれるといいですね。

【坂東教育長】そうですね。良い方に競っていただければ。

【後藤教育次長】これも民間事業者が来ていただければの話ですけどね。

【大戸井委員】3カ所任せてというのであれば来るかもしれませんが、1カ所ずつばらばらであれば難しいかもしれませんね。

【後藤教育次長】そうですね。全部一括にはまず無理と思いますので、1カ所ずつ出していくと思われます。

【重清委員長】もう民間の募集はされているのですか。

【後藤教育次長】いえ、まだです。29年度からどういうふうなスケジュールでいくのか検討していると思います。

【重清委員長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成29年3月23日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課係長